

平成28年度 地歴・公民科

単位数

2～3

学年

3学年

地理A

必修・選択

地理A・日本史Aより1科目選択

担当者

岸本 拓馬

教科書

高等学校新地理A（帝国書院）

1. ねらい・目標

ヨーロッパ諸国による大航海時代と産業革命は、19世紀以降の世界を急速に一体化させてきた。それにつぐ20世紀はまさしくグローバル化が進展した時代であった。21世紀に入った今日、世界のどの国も、もはやその国だけで政治や経済活動を行うことはできない。そうしたグローバル化した時代認識のうえに立ち、世界の人々相互理解がいつそう深められるように学習していく。また、学習を進めるなかで地理的な見方・考え方・読図や作図といった技能を身につけさせていく。

2. 授業の進め方や学習方法

- ・年度始めに地理学習についてのガイダンスを行います。
- ・授業には、教科書、地図帳、ノートを準備してください。プリントは随時配布します。
- ・予習は特に必要ありませんが、復習は教科書、ノート、プリント等で行ってください。
- ・定期的にノートや課題の提出があります。
- ・入試で地理を選択する可能性がある場合には、その旨教科担当に連絡し、別の課題をもらうようにしてください。（授業以外での家庭学習が必要となるため）

3. 副教材・参考書

副教材 授業プリント・課題プリント・地図帳

参考書 シグマベスト『スーパーシグマ できる地理A』（一例として）

地理用語集（山川出版社）

4. 評価

定期考査・課題や授業ノートの提出状況・出席状況・授業への取り組み等を総合的に判断して評価します
以下の観点別評価をふまえて評価します。

観点別評価

関心・意欲・態度

現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

思考・判断

現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。

資料活用の技能表現

地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。

知識・理解

現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

5. その他（履修上の留意点等）

大学受験で地理を選択する場合は大学によってはA科目が設定されていない場合があります。その時は2年次で選択した日本史Bや3年次で習得する政治経済・倫理を選択するか、地理Bの教科書や参考書を各自で準備して入試に備えるようにしてください。受験前には社会科担当の教師とよく相談してください。

6. 授業計画（進度表）

		単		元	
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準	
4	第1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 第1節 地球上の位置と国家				
	1 地上の現象と地球上の位置	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆白夜の地域と日本とを比較させ、緯度や経度の基本的なしくみを理解する。 ◆地球の自転と公転が季節に関係していることを捉える。 ◆緯度の違いが、世界各地の気候に影響を与えていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】地上の現象と地球上の位置についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】地上の現象と地球上の位置について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】地上の現象や地球上の位置に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】地球上での位置や、緯度・経度の概念を習得するとともに、それらに関する知識を身に 	
	2 経度の違いと時差	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆経度の違いと時差のしくみについて身近な題材に即して理解する。 ◆経済活動をはじめ、私たちの生活に時差がもたらす影響を理解する。 ◆サマータイム制度を実施している国や地域の特徴について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】経度の違いと時差のしくみについて関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】時差のしくみや時差と日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】時差に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】経度の違いと時差についての基本的な事から理解し、それらの知識を身につけている。 	
	3 球面と平面の世界	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆球面である地表面を平面である世界地図に表現する際に生じるひずみについて考察する。 ◆地球を地図におきかえるさまざまな図法について考察する。 ◆正積図、正距方位図、正角図の特徴と利用方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】球面と平面で表される世界に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】地球を地図におきかえるさまざまな方法について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】地球儀やさまざまな図法の地図を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】地球儀と地図との違いや、図法によって距離・方位・面積などの表現の特徴が異なることを理解し、それらに関する知識を身につけている。 	
	4 国家の領域と国境	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆国家の領土・領空・領海の範囲について理解する。 ◆国境にはさまざまな形態や性格があることに気づかせ、その意味を理解する。 ◆現在でも国境線が定まっていない地域を調べ、その理由を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】国家の領域と国境に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】国家の領域と国境に関する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】国家の領域や国境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】国家の領域とさまざまな国境についての 	

「高等学校 新地理A」 年間指導計画面・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	5 日本の領域と領土問題	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の位置と排他的経済水域の範囲や資源の利用について理解する。 ◆日本が抱える領土問題について考察する。 	<p>【関】日本の領域と領土問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】日本の領域と領土問題についての課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を考え、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】日本の位置と排他的経済水域の範囲に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有効な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】日本の領域と領土問題についての基本的な事がらを理解し、その知識を身につけている。</p>
2節 グローバル化が進む世界				
	1 結びつきを強める現代世界	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆東西冷戦の終結とともに国家間の結びつきが軍事的結合から経済的結合へと変化したことを理解する。 ◆冷戦終結後もあいつぐ地域紛争・民族紛争に対し、国連の重要性が増していることを考察する。 ◆地域的わく組みにより、自由貿易が拡大していることを理解する。 	<p>【関】結びつきを強める現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】国と国との結びつきの変化について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】国家間の結びつきの変化や、現代世界の経済機構を表す地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】国家間の結びつきの変化や現代世界の経済機構、国連の役割などについて理解し、それらの知識を身につけている。</p>
	2 世界を結ぶ交通	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆航空交通の発達により、地球規模での国際交流が活発化したことを理解する。 ◆陸上交通と海上交通の長所と短所を考察する。 ◆航空交通におけるハブ空港の重要性を理解する。 	<p>【関】世界を結ぶ交通に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】航空・陸上・海上交通の長所と短所から課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界を結ぶ交通網の地域性や動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界を結ぶ交通網の地域性や動向を地</p>
	3 世界を一つに結ぶ通信	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツの国際的なテレビ中継から通信網の発達を考察する。 ◆情報化社会におけるインターネット普及の状況を理解させ、課題と展望を考察する。 ◆国や地域、社会階層による情報格差について考察する。 	<p>【関】世界を一つに結ぶ通信に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】通信の発達と地域性について課題を見出し、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】通信の発達に関する地図・統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の通信についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

単			元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準	
5	4 拡大する世界の貿易	0.5	<p>◆日本の貿易品目の変化について考察する。</p> <p>◆日本企業による海外生産について考え、垂直貿易や水平貿易について理解する。</p> <p>◆貿易の自由化が進められ、地域内の経済的結びつきを強める協定が拡大していることを理解する。</p>	<p>【関】拡大する世界の貿易に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】日本の貿易品目の変化や垂直貿易や水平貿易についての課題を見出し、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】貿易の地域性や動向に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】貿易の地域性や動向・経済的結びつきの強まりについて、基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>	
	5 観光の国際化と人々の移動	0.5	<p>◆日本における観光の国際化について考察する。</p> <p>◆地域によって異なる観光の特徴や多様化する観光の現状について理解する。</p> <p>◆各国の余暇の過ごし方を考えさせ、観光収入と観光客の移動について理解する。</p>	<p>【関】日本における観光の国際化と人々の移動について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】観光の国際化と人々の移動に関する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】観光の国際化と人々の移動に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】国際的な観光の広がりについての基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>	
	2章 人間生活を取り巻く環境				
	1節 生活に影響を与える環境条件とは	0.5	<p>◆人々の生活に影響を与える自然環境と社会環境について考察する。</p>	<p>【関】生活に影響を与える環境条件に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】生活に影響を与える環境条件について、自然環境と社会環境との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】生活に影響を与える環境条件に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の人々の生活・文化は、自然環境や社会環境と深く関わって成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。</p>	
	2節 人々の生活と地形				
1 さまざまに変化する大地と生活	0.5	<p>◆地震対策の違いを例に、地盤や地形の特徴と人々の生活との関わりについて考察する。</p> <p>◆地域開発において、自然との共生を心がけることが必要であることに気づく。</p>	<p>【関】人々の生活と地形に関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】ニューヨークと東京のビルの違いを地域性をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】自然環境を形成する地形に関する諸資料を収集し、生活・文化と関連づけて読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】人々の生活と地形との関係性についての基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>		
2 世界の大地形と人々の生活	1	<p>◆地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。</p> <p>◆内的営力と外的営力の影響を受けて、今後も地形は変化し続けるという点を理解する。</p>	<p>【関】世界の大地形に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】自然環境を形成する地形について地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の大地形に関する地図などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】内的営力と外的営力に関する基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>		

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	3 山地・平野の地形と人々の生活	1	<p>◆河川がつくる山地・平野の地形の種類や特徴と人々の生活との関係を理解する。</p> <p>◆河川の流れて沿って周辺地域の地形とその土地利用が移り変わっていくことを理解する。</p>	<p>【関】山地・平野の地形と人々の生活との関係性について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】山地・平野の地形と人々の生活との関わりについて、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】河川がつくる山地・平野の地形に関する地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】山地・平野の地形と生活との関わりについての基本的な事からや追究の方法を理解し、</p>
	4 海岸の地形と人々の生活	1	<p>◆海岸でみられる地形の特徴と、その利用方法や人々の生活との関わりについて理解する。</p>	<p>【関】海岸の地形と人々の生活との関係性について関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】海岸の地形と人々の生活との関わりについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】海岸地形に関する地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】海岸地形と人々の生活との関わりについての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	5 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	1	<p>◆氷河地形・カルスト地形・乾燥地形の特徴やそれらがみられる地域の人々の生活との関わりについて理解する。</p>	<p>【関】氷河地形・カルスト地形・乾燥地形に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】氷河地形・カルスト地形・乾燥地形について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】氷河地形・カルスト地形・乾燥地形を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活との関わりについての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけて</p>
3節 人々の生活と気候				
	1 生活と気候のかかわり	0.5	<p>◆気候の特徴と人間生活との関わりについて考察する。</p> <p>◆気候は、気温・降水量・風などの気候要素から構成されていることを理解する。</p> <p>◆ケッペンの気候区分と分布の特徴を理解する。</p>	<p>【関】生活と気候との関わりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】自然環境を形成する気候について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】ケッペンの気候区分と分布に関する地図や統計・画像など、気候に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】気温・降水量・風などの気候要素について</p>

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
6	2 熱帯の気候と人々の生活	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆熱帯の各気候区の分布や特徴を理解する。 ◆熱帯地域にはどのような植生や土壌がみられるか理解する。 ◆熱帯地域に暮らす人々の生活について理解する。 	<p>【関】熱帯の気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】熱帯の各気候区の地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】熱帯地域にはどのような植生や土壌がみられるのか地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>
	3 乾燥帯の気候と人々の生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆乾燥帯の各気候区の分布や特徴を理解する。 ◆降水量の少ない乾燥帯に暮らす人々の生活について理解する。 	<p>【関】乾燥帯の気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】降水量の少ない乾燥帯に暮らす人々の生活を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】乾燥帯の各気候区の分布や特徴について地図や統計・画像などの諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】乾燥地域に暮らす人々の生活についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	4 温帯の気候と人々の生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆温帯の各気候区の分布や特徴を理解する。 ◆季節の変化に富む温帯に暮らす人々の生活について理解する。 	<p>【関】温帯の気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】季節の変化に富む温帯に暮らす人々の生活を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】温帯の各気候区の分布や特徴について地図や統計・画像などの諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】温帯地域に暮らす人々の生活についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆亜寒帯・寒帯の各気候区の分布や特徴を理解する。 ◆寒さの厳しい亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活について理解する。 	<p>【関】亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】冷涼な亜寒帯と極寒の寒帯に暮らす人々の生活を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】亜寒帯・寒帯の各気候区の分布や特徴について地図や統計・画像などの諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】亜寒帯・寒帯地域に暮らす人々の生活についての基本的な事からや追究の方法を理解</p>
	4節 人々の生活と産業			
	1 生活を支える世界の農業	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆農業の発達と自給的農業・商業的農業について理解する。 ◆企業的農業と穀物メジャーとの関係について理解する。 ◆農業の国際化と人々の生活の変化について考察する。 	<p>【関】生活を支える世界の農業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】生活を支える世界の農業の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の農業地域に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の農業地域の分布や特徴、農業をめぐる動向についての基本的な事からや追究の</p>

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 生活を支える世界の工業	0.5	<p>◆さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。</p> <p>◆先進国と発展途上国でさかんな工業の特徴と、その変化について考える。</p>	<p>【関】生活を支える世界の工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の工業地域に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>【知】工業の発達や各工業の種類、工業地域の分布や動向についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
5節 人々の生活と文化				
	1 生活と宗教・言語のかかわり	0.5	<p>◆世界の三大宗教をはじめとする主要な宗教の特徴や、それらが信仰されている地域の分布を捉え、宗教と人々の生活との関わりについて考える。</p> <p>◆ケベック州の事例を通して、生活と言語との関わりや公用語について理解する。</p>	<p>【関】生活と宗教・言語の関わりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】世界の諸地域にみられる宗教・言語と人々の生活との関わりについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の宗教の分布と宗教別人口や公用語・言語別人口を表す地図・統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の諸地域にみられる言語や宗教がそれぞれの生活・文化をはぐくんできたことを理解し、その知識を身につけている。</p>
	2 生活・文化のグローバル化	0.5	<p>◆グローバル化が進む世界について、その影響を身近な生活と照らし合わせて考察する。</p> <p>◆文化の画一化に対して、地域固有の文化や特色を大切にすることがあることを理解する。</p>	<p>【関】生活・文化のグローバル化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】文化の画一化が進んでいることや異なる文化をもつ人々が接する機会が増加することで生じる課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】グローバル化のなかの地域性に関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】生活・文化のグローバル化をめぐる諸課題についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
3章 世界の諸地域の生活・文化				
1節 中国の生活・文化				
7	1 中国の自然環境	0.5	<p>◆内陸部と沿海部、北部と南部の違いに注目して、中国の自然環境の地域差を考察する。</p> <p>◆どのような自然環境の地域に人口が集中しているのか理解する。</p>	<p>【関】中国の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】中国の内陸部と沿岸部、北部と南部の自然環境の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中国とその周辺の自然環境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】中国の自然環境について人口分布の特徴と関連させながら基本的な事からや追究の</p>

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 中国の歴史と社会	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国の社会が日本とどのように異なるかを理解する。 ◆中国が多民族国家であることや、その民族の分布の特徴を捉える。 ◆巨大な人口をもつ中国の人口問題とその解決への取り組みを理解する。 	<p>【関】中国の歴史と社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】中国が日本とどのように異なるのかを地域性、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中国の民族分布・人口密度の地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】巨大な人口をもつ中国の社会構造や多民族</p>
	3 13億人の食を支える農業と農民	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆気候と農業との関係と、地域により異なる食文化について理解する。 ◆農村に暮らす人々の生活がどのように変化してきたかを考察する。 ◆高度経済成長のなかで、中国が抱える農業の問題について理解する。 	<p>【関】13億人の食を支える中国の農業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】中国が抱える農業に関する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中国の農業分布や各地域の雨温図などの諸資料から、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】中国の農業をめぐる動向や農村生活の変化についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	4 急進する工業と資源・環境	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国における工業化の変遷と、「世界の工場」と呼ばれるようになった背景について理解する。 ◆工業化の進展でどのような課題が生まれているのか考察する。 ◆大量の資源を消費する中国の資源とエネルギーの課題について理解する。 	<p>【関】中国が「世界の工場」と呼ばれるようになったことへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】急進する工業と資源や環境をめぐる課題を見出し、それを地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中国の資源や工業に関する地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】中国の鉱工業についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	5 生活の変化と格差の拡大	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆経済発展に伴い、都市に暮らす人々の生活が変化し、世界の市場として世界各国が注目していることを理解する。 ◆都市と農村、沿岸部と内陸部の経済格差とその格差を埋めるための対策について考察する。 	<p>【関】中国の経済発展に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】都市生活の変化と農村との格差拡大の課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中国国内の経済格差を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】中国の経済発展と地域格差についての</p>

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2節 韓国の生活・文化			
	1 朝鮮半島の自然環境	0.5	<p>◆朝鮮半島の自然環境について、日本との類似点と相違点に注目して、考察する。</p>	<p>【関】朝鮮半島の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】朝鮮半島の自然環境について日本との類似点と相違点を見出し、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】朝鮮半島とその周辺自然環境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】大陸に連なる朝鮮半島の自然環境について基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	2 韓国の歴史と日本との交流	0.5	<p>◆韓国の歴史と文化は日本と関わりが深いことを理解する。</p> <p>◆日本と朝鮮半島をめぐる歴史や、韓国と北朝鮮との関係について考察する。</p> <p>◆日本の大衆文化を具体例として、日本と韓国との相互交流について理解する。</p>	<p>【関】韓国の歴史と日本との交流に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】日本と朝鮮半島をめぐる関係性について歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】朝鮮半島の歴史と日本との交流に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】韓国の歴史や文化について、日本との関わりをふまえながら基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3 産業の発展と生活の変化	1	<p>◆韓国の急速な工業の発展はどのようになしたかを理解する。</p> <p>◆経済成長に伴う都市への人口集中や人々の生活の変化について考察する。</p>	<p>【関】韓国の産業の急速な発展に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】輸出主導の工業発展や、経済成長に伴う都市への人口集中など都市と農村の変化をめぐる課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】朝鮮半島の鉱工業や都市生活の変化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】韓国の産業の発展と生活の変化についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3節 東南アジアの生活・文化			
	1 東南アジアの自然環境	0.5	<p>◆東南アジアの自然環境について、季節風(モンスーン)の特徴に着目して理解する。</p> <p>◆季節風(モンスーン)の影響と、雨季と乾季の降水量の違いについて考察する。</p>	<p>【関】東南アジアの自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】東南アジアの自然環境について、季節風(モンスーン)の影響に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】東南アジアの自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】季節風(モンスーン)の影響を受ける東南アジアの自然環境について基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
9	2 東南アジアの歴史と民族	0.5	<p>◆東南アジアの歴史や、植民地支配とモノカルチャー経済との関係について理解する。</p> <p>◆東南アジアの多様な民族と文化について理解する。</p>	<p>【関】東南アジアの歴史と民族に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】東南アジアの歴史や多様な民族と文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】東南アジアの歴史や言語・宗教について、地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】東南アジアの歴史をめぐる植民地支配とモノカルチャー経済との関係性や、多民族・多文化社会についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>
	3 東南アジアの農業とその変化	1	<p>◆東南アジアでさかんに行われている稲作の特徴について理解する。</p> <p>◆商品作物栽培の変化について理解する。</p>	<p>【関】東南アジアの農業とその変化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】東南アジアの稲作や商品作物栽培の変化について課題を見出し、地域性をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】東南アジアの農業地域を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】東南アジアの農業の変化について基本的な事がらや追究方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>
	4 工業の発展とASEAN	1	<p>◆モノカルチャー経済からの脱却のため、各国で進められた工業化の特徴を理解する。</p> <p>◆ASEAN域内の結びつきと、近隣諸国との関係について理解する。</p>	<p>【関】東南アジアの工業の発展やASEAN域内の結びつきと近隣諸国との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】モノカルチャー経済と各国で進む工業化の課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】東南アジアの資源の分布や工業に関する地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】東南アジアの工業化について、モノカルチャー経済からの脱却や近隣諸国との関係性について理解し、その知識を身に付けている。</p>
	4節 インドの生活・文化			
	1 インドとその周辺の自然環境	0.5	<p>◆インドとその周辺の自然環境について、山脈や平野の位置、河川の流れや季節風(モンスーン)などに注目して、理解する。</p>	<p>【関】インドとその周辺の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】インドとその周辺の自然環境について、山脈に囲まれた地形と季節風(モンスーン)の影響に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】インドとその周辺の自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】インドとその周辺の自然環境の特徴について、山脈の位置や季節風(モンスーン)の影響と関連させながら基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p>

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単			元	
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 インド世界の歩みとヒンドゥー教	0.5	<p>◆インド世界と呼ばれる南アジアの国々の歴史と、異なる宗教における対立があったことについて理解する。</p> <p>◆ヒンドゥー教の特徴と社会集団としてのジャーティについて理解する。</p>	<p>【関】インド世界の歩みとヒンドゥー教に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】インドのヒンドゥー教を中心とした社会の歴史的背景をふまえ、地域の変容の実態を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】インドとその周辺の国々の歩みや宗教を表す地図・統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】インドのヒンドゥー教を中心とした社会の変容について、基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3 インドの産業の発展	1	<p>◆インドの農業の展開を、自然環境や技術革新などから理解する。</p> <p>◆成長するインドの工業と、経済発展をリードしているIT産業について理解する。</p>	<p>【関】インドの農業の展開や工業における急速な発展に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】インドの産業の発展から課題を見出し、地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】インドとその周辺の国々の農業や鉱工業を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】インドの農業の技術革新やIT産業の発展などについて基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化				
	1 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境	0.5	<p>◆中央アジアから北アフリカの地域の自然環境にはどのような特徴があるかを理解する。</p> <p>◆乾燥した気候のもとで行われる灌漑農業について理解する。</p>	<p>【関】中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境について、乾燥した気候に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境について、乾燥した気候に着目して基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	2 地域の歴史とムスリムの生活	0.5	<p>◆この地域で広く信仰されるイスラームの歴史と伝播について理解する。</p> <p>◆イスラームと人々の生活との関わりを、コーランの宗教儀礼や五行から考察する。</p>	<p>【関】この地域で広く信仰されるイスラームの歴史とムスリムの生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】イスラームの考え方や慣習について地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】この地域のムスリムの割合や言語の分布を表す地図などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】イスラームと人々の生活との関わりについて</p>

		単	元	
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい) 及び内容	評価規準
	3 豊かな石油資源と人々の生活	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆この地域の産油国が、石油資源の開発と利用をどのように進めてきたかを理解する。 ◆人々の生活や地域が抱える課題について考察する。 ◆産油国とそうでない国との経済格差や、資源をめぐる紛争について理解する。 	<p>【関】中央アジアから北アフリカにかけての石油資源に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】産油国の開発と利用の課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】中央アジアから北アフリカにかけての油田の分布を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】豊かな石油資源と人々の生活について基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化			
#	1 サハラ以南のアフリカの自然環境	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆アフリカの自然環境の特徴を理解する。 ◆赤道を境に対称な気候の特徴について理解する。 	<p>【関】アフリカの自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】アフリカの自然環境について、台地上の地形と赤道を境に対称な気候との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】アフリカの自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】アフリカの自然環境について、台地上の地形や赤道を境に対称な気候をふまえ、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	2 サハラ以南のアフリカの歴史と文化	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆ヨーロッパ諸国による植民地支配の歴史とその影響について理解する。 ◆アフリカのさまざまな民族の伝統的文化がどのような形で残っているかを考察する。 	<p>【関】サハラ以南のアフリカの歴史と文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】植民地支配の歴史とその影響について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】アフリカの植民地支配を表す地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】サハラ以南のアフリカの歴史とさまざまな民族の伝統的文化について、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3 変わるサハラ以南のアフリカ	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆モノカルチャー経済をめぐるさまざまな問題について理解する。 ◆南アフリカ共和国の変化を人種問題を通して理解する。 	<p>【関】アフリカ諸国の多くが抱える経済の問題点に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【技】アフリカ諸国のモノカルチャー経済をめぐる問題や南アフリカ共和国の変化について歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】アフリカ諸国の食料輸入や経済を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】アフリカ諸国の経済をめぐる動向について、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	7節 ヨーロッパの生活・文化			

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	1 ヨーロッパの自然環境	0.5	◆ヨーロッパの多様な地形や、高緯度の割に温暖な気候について理解する。	【関】ヨーロッパの自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ヨーロッパの自然環境について、高緯度の割に温暖な気候や地域により異なる地形のようすに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ヨーロッパの自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ヨーロッパの自然環境について、高緯度の割に温暖な気候や地域により異なる地形のようすをふまえ、基本的な事から追究の方法を
	2 ヨーロッパの歩みと文化	0.5	◆ヨーロッパのキリスト教に深く結びついた文化と、宗派や言語の多様性について理解する。 ◆ヨーロッパ諸国の歩みについて理解する。	【関】ヨーロッパの歩みと文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ヨーロッパのキリスト教に深く結びついた文化について、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ヨーロッパの宗教別人口と言語分布を表す地図や統計・画像など地域に関する資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ヨーロッパの歩みとキリスト教に深く結びついた文化について、基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	3 ヨーロッパの産業	1	◆地域による自然環境に対応したヨーロッパの農業について理解する。 ◆ヨーロッパではどのような工業がさかんなのか、産業の発達の歴史と、近年の工業地域の変化とその特徴を理解する。	【関】ヨーロッパの農業と工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】地域による自然環境に対応した農業や、工業の発達の歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ヨーロッパの農業と鉱工業を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ヨーロッパの農業の特色や工業の立地について、自然環境や資源の分布と関連させな
	4 ヨーロッパの統合	0.5	◆ヨーロッパのEUへの統合の歩みを確認し、なぜ統合が進んでいるのか、その理由を考察する。 ◆EU域内で行われていることを理解する。	【関】ヨーロッパの統合の歩みに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ヨーロッパの統合について歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】EU拡大やEU域内の貿易の規模を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ヨーロッパの統合についての歩みやEU域内で行われていることについて、基本的な事から追究の方法を理解し、その知識を身につけ

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

		単		元		
月		単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準	
#		5 統合による影響と課題	0.5	◆EUの統合・拡大によってどのような課題を抱えるようになったのか考察する。	【関】EUの統合・拡大による影響とその課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】EUの統合・拡大による経済格差や労働者の移動に関する課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】EUの経済格差や労働者の移動を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】EUの統合・拡大による影響と課題について基本的な事からや追究の方法を理解し、そ	
		8節 ロシアの生活・文化				
		1 ロシアとその周辺の自然環境	0.5	◆南北差と東西差に注目して、広大なロシアの自然環境の特徴を理解する。	【関】ロシアとその周辺の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】広大なロシアの自然環境について南北差と東西差に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ロシアとその周辺の自然環境を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】世界一広い国土をもつロシアの自然環境について基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	
		2 ロシアの歴史と社会の変化	0.5	◆世界一広大な国土面積をもつロシアは、どのような歴史を経て現在の国になったのか、政治体制や経済の変化に注目して理解する。	【関】ロシアの歴史と社会の変化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ロシアの成り立ちや社会の変化から課題を見出し、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ロシアの民族分布や経済成長に関する地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ロシアの歴史と社会の変化について基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	
		3 ロシアの産業と日本との結びつき	1	◆ロシアの経済を支える資源をめぐる動きや、外国企業との関係について理解する。 ◆日本の隣国であるロシアは、日本とどのような結びつきがあるかを理解する。	【関】ロシアの産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ロシア経済を支える資源や日本との結びつきを歴史的背景をふまえて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ロシアとその周辺諸国の鉱工業を表す地図や貿易に関する統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ロシアの産業と日本との結びつきについて、ロシア経済を支える資源をめぐる動きや外	
		9節 アメリカ合衆国の生活・文化				

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	1 アメリカ合衆国とその周辺の自然環境	0.5	◆アメリカ合衆国とその周辺の自然環境にどのような特徴があるのか、地形や気候の東西差に注目して理解する。	【関】アメリカ合衆国とその周辺の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】アメリカ合衆国とその周辺の自然環境について、地形や気候の東西差に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】アメリカ合衆国とその周辺の自然環境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】アメリカ合衆国とその周辺の自然環境についての基本的な事からや追究の方法を理解
	2 移民の歴史と多文化社会	0.5	◆移民の歴史に注目し、多民族・多文化の社会が形成された過程を理解する。 ◆アメリカ合衆国で生まれたモータリゼーションによる生活様式を理解する。	【関】アメリカ合衆国の移民の歴史と多文化社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】アメリカ合衆国の多民族・多文化社会について、移民国家としての歴史的背景をふまえ、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】フロンティアの移動と移民の歴史を表す地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】アメリカ合衆国の民族や文化についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
	3 大規模な農業とアグリビジネス	1	◆アメリカ合衆国の自然環境に適した農業地域の特徴とその背景について理解する。 ◆世界に影響を及ぼすアグリビジネス企業の特徴を理解する。 ◆アメリカ合衆国の農業の変化と課題について考察する。	【関】アメリカ合衆国の大規模な農業とアグリビジネスに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】アメリカ合衆国の適地適作の農業について、地域性や歴史的背景との関連をふまえ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】アメリカ合衆国とその周辺の農業を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】アメリカ合衆国の農業についての基本的な事からや追究の方法を理解して、その知識を身に付けている。
	4 先端技術産業の発展と工業の変化	1	◆アメリカ合衆国における工業の変遷について理解する。 ◆アメリカ合衆国の先端技術産業が世界をリードしている背景を理解する。 ◆NAFTA成立による加盟国間の結びつきや、アメリカ合衆国とメキシコとの関係の変化について考察する。	【関】アメリカ合衆国における工業の変遷と先端技術産業の発展に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】アメリカ合衆国の工業の変遷から課題を見出し、国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】アメリカ合衆国の鉱工業を表す地図や貿易に関する統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】アメリカ合衆国の工業の変遷や先端技術
10節 ラテンアメリカの生活・文化				

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
#	1 ラテンアメリカの自然環境	0.5	◆ラテンアメリカの自然環境について、熱帯林の広がりや高地での暮らしに注目し、理解する。	【関】ラテンアメリカの自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】ラテンアメリカの南北と標高で異なる自然環境の地域性をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ラテンアメリカの自然環境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ラテンアメリカの自然環境についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	2 混血社会と多様な文化	0.5	◆ラテンアメリカの歴史的背景と各国の人種・民族構成の違いについて理解する。 ◆先住民とさまざまな地域の文化や伝統が融合した、ラテンアメリカの独特な文化について理解する。	【関】ラテンアメリカの混血社会と多様な文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】混血社会と多様な文化について地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ラテンアメリカ諸国の言語と民族を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ラテンアメリカの混血社会と多様な文化についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	3 ラテンアメリカの産業とその変化	1	◆大土地所有制と農業の変化について理解する。 ◆鉱産資源の採掘が中心であったラテンアメリカの産業がどのように変化しているのかを、工業化の進むブラジルを事例に考察する。	【関】ラテンアメリカの産業とその変化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】大土地所有制と農業の変化や経済に関する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】ラテンアメリカの農業を表す地図や貿易に関する統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】ラテンアメリカの産業についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	11節 オーストラリアの生活・文化			
	1 オーストラリアとその周辺の自然環境	0.5	◆オーストラリアとその周辺の自然環境について、内陸部と沿岸部の違いに注目し、理解する。	【関】オーストラリアとその周辺の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】オーストラリアとその周辺の自然環境について内陸部と沿岸部との違いに着目し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】オーストラリアやニュージーランドなどの自然環境を表す地図や画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】オーストラリアとその周辺の自然環境についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 オーストラリアの結びつきの変化	0.5	<p>◆オーストラリアの多文化社会はどのように形成されてきたのか、移民の出身国の変化をもとに理解する。</p> <p>◆オーストラリアとアジア太平洋との結びつきが強まったことを、貿易や経済機構を通して理解する。</p>	<p>【関】オーストラリアの結びつきの変化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】オーストラリアの多文化社会について歴史的背景をふまえ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】オーストラリアの貿易相手国の変化を表す地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】オーストラリアの多文化社会や結びつきの変化についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3 自然を生かした産業	1	<p>◆自然環境に適した農業が行われていることを理解する。</p> <p>◆鉱産資源やエネルギー資源の豊富なオーストラリアの鉱工業について理解する。</p>	<p>【関】オーストラリアの自然を生かした産業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】オーストラリアの自然を生かした産業の地域性や歴史的背景をふまえ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】オーストラリアの農牧業や鉱工業を表す地図や貿易に関する統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】オーストラリアの自然を生かした産業についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
4章 地球的課題と私たち				
1節 複雑にからみ合う地球的課題				
	1 地球的課題の特性とその解決	0.5	<p>◆地球規模で直面している深刻な課題について、どのような地域の特徴があるかを理解する。</p> <p>◆地球的課題について、世界の国々がどのように対応しているのか考察する。</p> <p>◆地球的課題の背景には、先進国と発展途上国との経済的格差があることを理解する。</p>	<p>【関】複雑にからみ合う地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】直面する地球規模の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】地球的課題のさまざまな結びつきを表す図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
2節 世界の環境問題				
	1 さまざまな環境問題	0.5	<p>◆世界で起こるさまざまな環境問題について理解する。</p> <p>◆環境問題の生じている地域に注目しつつ、その原因について考察する。</p> <p>◆環境問題の解決に向け、どのような取り組みが行われているかを理解する。</p>	<p>【関】世界の環境問題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】世界で起こるさまざまな環境問題の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の主な環境問題を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界で起こるさまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

単			元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準	
1	2 熱帯林の破壊とその解決	0.5	<p>◆熱帯林をはじめ、なぜ森林破壊は進んでいるのか考察する。</p> <p>◆東南アジアの熱帯林の開発と保護について理解する。</p>	<p>【関】熱帯林の破壊に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】熱帯林の破壊に対する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の森林の減少を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>【知】熱帯林の破壊とその解決についての基本</p>	
	3 地球温暖化の現状と対策	0.5	<p>◆地球温暖化によってどのような問題が発生するのか捉える。</p> <p>◆地球温暖化に対してどのような対策がとられているのか、オランダの事例を通して理解する。</p>	<p>【関】地球温暖化の現状と対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】地球温暖化の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界各国・地域の二酸化炭素排出量を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>【知】地球温暖化の現状と対策についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	
	3節 世界の資源・エネルギー問題				
	1 限りある資源・エネルギー	1	<p>◆世界の資源やエネルギーはどこで生産され、どこで多く消費されているかを理解する。</p> <p>◆資源・エネルギーの枯渇や地球温暖化に対してどのような対策がとられているか、各国のエネルギー利用構成に注目して理解する。</p>	<p>【関】世界の資源・エネルギー問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】資源・エネルギーの生産と消費から課題を見出し、その地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界のおもなエネルギー資源の分布と消費量を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>【知】世界の資源・エネルギーをめぐる問題とその対策や今後のエネルギーのあり方についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>	
4節 世界の人口問題					
1 人口増加と少子化・高齢化	0.5	<p>◆世界の人口が20世紀後半から急増している原因は何か考察する。</p> <p>◆地域による人口問題の違いやその背景を理解する。</p> <p>◆人口問題の解決に向け、各国でどのような対策が行われているかを理解する。</p>	<p>【関】世界の人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】世界で起こる人口問題について、先進国と発展途上国での課題の違いを見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の人口増加率や各地の人口問題を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>【知】世界の人口問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>		

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 地域で異なる人口問題	0.5	<p>◆発展途上国に多くみられる人口増加の例として、インドの人口問題を考察する。</p> <p>◆先進国に多くみられる少子化・高齢化の例として、デンマークの人口問題を考察する。</p>	<p>【関】地域で異なる人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】インドやデンマークを事例に、発展途上国と先進国とで多くみられる人口問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の諸地域に現れる人口問題に関する図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】地域で異なる人口問題とその対策についての基本的な事からや追究の方法を理解し、</p>
5節 世界の食料問題				
	1 飢餓と飽食	1	<p>◆世界の食料生産・消費には著しいかたよりがあることを理解する。</p> <p>◆食料需給のバランスを保つための解決方法を考察する。</p>	<p>【関】世界の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】世界の食料をめぐる課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の食料生産や自給率を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の食料をめぐる課題について、生産と消費の著しいかたよりに着目し、その解決に向けた取り組みなどについて、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけて</p>
6節 世界の都市・居住問題				
	1 都市への人口集中と諸問題	0.5	<p>◆都市への人口集中が世界的に進んだ背景と、どのような都市問題が発生しているのか理解する。</p> <p>◆発展途上国と先進国とでみられる都市問題の違いと各々の解決への取り組みについて考察する。</p>	<p>【関】世界の都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】世界で起こる都市・居住問題について、先進国と発展途上国での課題の違いと共通点を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の大都市の分布や都市人口の増加率を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】世界の都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	2 地域で異なる都市・居住問題	0.5	<p>◆発展途上国の事例としてメキシコシティの都市問題を考察する。</p> <p>◆先進国の事例としてロンドンの都市問題を考察する。</p>	<p>【関】地域で異なる都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】メキシコシティやロンドン事例に、発展途上国と先進国とで多くみられる都市・居住問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界の諸地域に現れる都市・居住問題に関する図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】地域で異なる都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけて</p>
第1章 身近にあるさまざまな地図				

		単		元	
月		単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
2	2部 身近な地域の課題	1 身近な地図とその特色	1	<p>◆身のまわりには、さまざまな一般図と主題図があることを理解する。</p> <p>◆一般図と主題図の違いについて理解する。</p>	<p>【関】身のまわりにあるさまざまな地図とその特色に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】身のまわりにあるさまざまな地図とその特色について、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】身のまわりにあるさまざまな地図を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】身のまわりにあるさまざまな地図の用途に応じた活用や、一般図と主題図の特色の違いについて、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
		2 GISのしくみと支える技術	0.5	<p>◆GISやGPSのしくみについて理解する。</p> <p>◆情報や地図のデジタル化が私たちの生活にどのように役立っているのか考察する。</p>	<p>【関】GISのしくみとそれを支える技術に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】GISのしくみとそれを支える技術と利用について、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】GISを利用した地図のデジタル化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】GISのしくみとその利用について、生活にどのように役立っているか基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
		3 GIS技術の活用と地図	0.2	<p>◆GISを活用することで、どのような地図を作成することが可能になるかを理解する。</p> <p>◆身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用場面について考察する。</p>	<p>【関】GIS技術の活用に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】GISの技術の活用に関する利点と課題を、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】GISを利用した地図や技術の活用に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】身のまわりに普及するGISを用いた技術の活用について紙地図と比較しながら、基本的な</p>
		4 目的に合わせた地図の作成	0.3	<p>◆情報を地図化する方法を習得し、自分で地図を作成する。</p> <p>◆地図を作成する際の留意点について考察する。</p>	<p>【関】自分で地図を作成することへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。</p> <p>【思】情報の地図化について、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】目的に合わせた地図の作成に際し、諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり地図にまとめたりしている。</p> <p>【知】地図を作成する際の留意点について、基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
2章 日本の自然環境と防災					
		1 日本の自然環境	1	<p>◆日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくか考察する。</p>	<p>【関】日本の自然環境と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】日本の自然環境の特徴と、起こりうる災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】日本の地形や気候を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】日本の自然環境と自然災害についての基本的な事からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	2 火山災害と防災	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆火山のめぐみとその災害にはどのようなものがあるか理解する。 ◆火山災害の特徴と災害に備えた取り組みについて、島原や桜島の事例を通して理解する。 	<p>【関】火山災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】火山災害の種類と防災について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】日本の火山の分布を表す地図や火山災害と防災に関する統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】火山災害と防災についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	3 地震被害と防災	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆地震にはどのような種類があり、どのような被害を受ける可能性があるのか考察する。 ◆直下型地震の被害と防災について、神戸の事例から考察する。 ◆海溝型地震の予測と防災について、東海地震を例に考察する。 ◆津波被害と防災について、三陸海岸を例に考察する。 	<p>【関】地震被害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】地震の種類と災害やその防災について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】日本の主な地震の震源地と活断層の分布を表す地図や地震の起こるしくみ、地震被害とその防災に関する統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】地震被害と防災についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	4 風水害と防災	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆梅雨や台風の時期に発生しやすい風水害の種類と防災について理解する。 ◆土砂災害と防災について、福井の事例から考察する。 ◆浸水被害の備えについて、木曾三川を例に考察する。 ◆都市型水害と防災について、東京の事例から考察する。 ◆台風被害と防災について、沖縄を例に考察する。 	<p>【関】風水害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】風水害の種類と防災について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】風水害やその対策に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】風水害と防災についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	5 身近な地域の防災を考える	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な地域で発生しやすい災害とそれによる被害を予測する。 ◆自然災害による被害を軽減するために、自分たちにできることを考察する。 	<p>【関】身近な地域の防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】身近な地域で発生しやすい災害とそれによる被害について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】身近な地域のハザードマップや過去の災害に関する統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】身近な地域で発生しやすい災害を捉え、自分たちにできることを考察し、その知識を身につけている。</p>
3	3章 身近な地域の課題と地域調査			

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

単		元		
月	単元名	時数	学習の目標(ねらい) 及び内容	評価規準
	1 地域を調べる課題の設定	1	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な地域には、さまざまな課題があることを考察する。 ◆地域調査を行うためには目的やテーマをはっきりさせることが大切であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】身近な地域への関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】身近な地域の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】身近な地域に関する諸資料を収集し、地域の課題について有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】身近な地域の課題と地域調査についての基本的な事ながらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	2 課題の調査	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な地域を調査するためにはどのような調査方法が有効か考察する。 ◆地域調査を行う前後にどのような作業をすることが必要かを考察する。 ◆地域調査から課題を明確にして仮説を立て、検証することが大切であることを理解する。 ◆現地調査から分析、仮説の検証、まとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】身近な地域の調査に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】身近な地域の課題に対する調査方法を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】身近な地域の調査に際して諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】身近な地域の調査方法についての基本的な事ながらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
	3 調査内容の発表	0.5	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査内容を発表する際には、どのようなことに気をつけたらよいか考察する。 ◆調査内容のまとめ方や発表方法を習得し、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関】身近な地域の調査内容の発表に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】調査内容の発表に際し、それを多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】調査発表に資する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】調査内容のまとめ方や発表方法についての基本的な事ながらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。

「高等学校 新地理A」 年間指導計画案・評価規準

		単		元	
月		単元名	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準